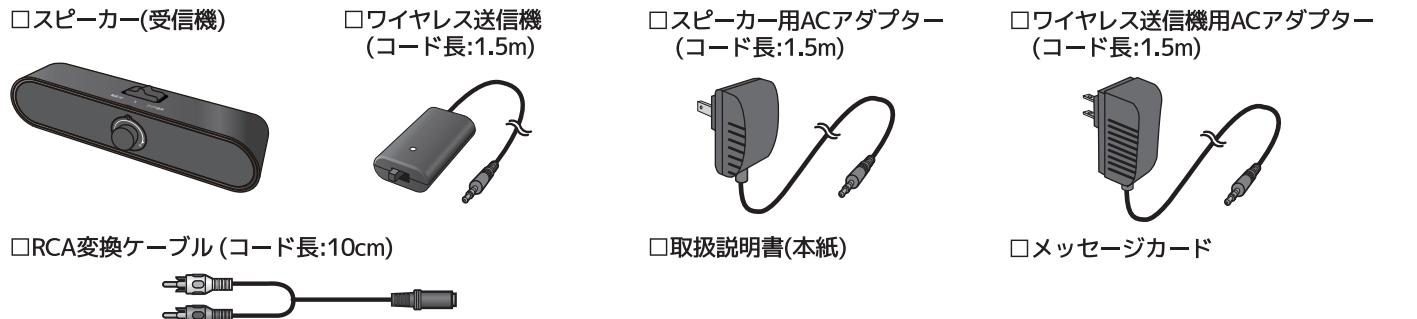
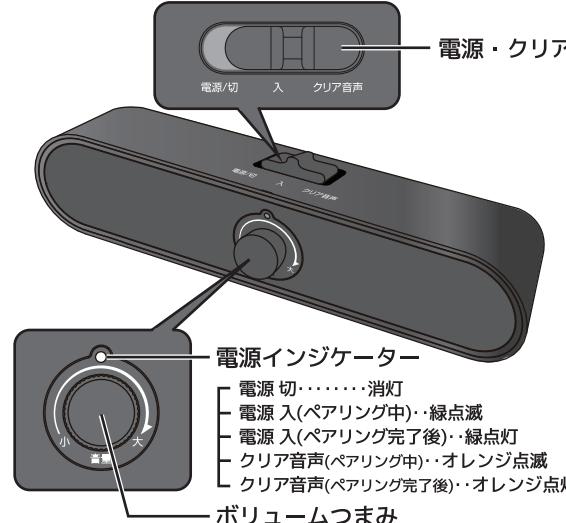


同梱品



各部の名称

■スピーカー(受信機)



■ワイヤレス送信機



使い方

1 ワイヤレス送信機を設置する

用意するもの：ワイヤレス送信機、ワイヤレス送信機用ACアダプター、RCA変換ケーブル

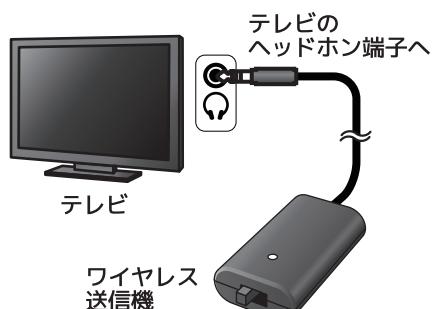
<注意> ■ワイヤレス送信機の電源が「切」になっていることをご確認ください。

■接続するときは、各機器の電源を切ってください。

■ACアダプターの電源プラグは、全ての接続が終わった後、コンセントに接続してください。

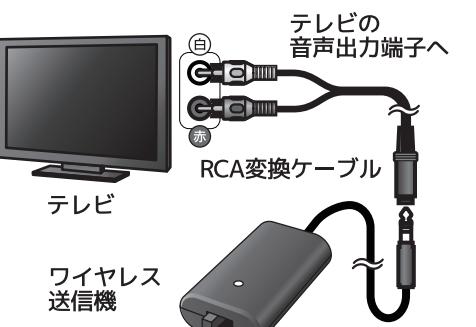
① テレビとワイヤレス送信機をつなぐ

ヘッドホン端子をつなぐ テレビの音声は消してスピーカーから音声を出す



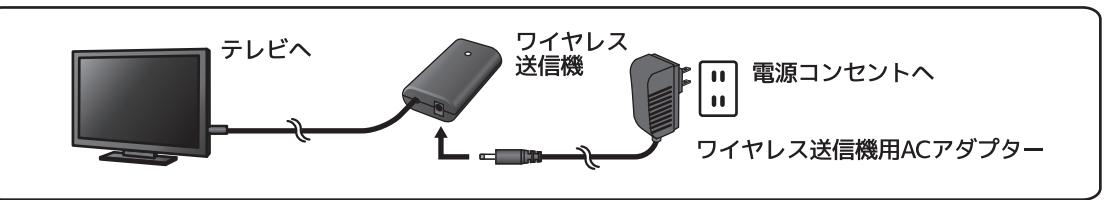
ご使用のテレビの機能によっては、スピーカーとテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご確認ください。

音声出力端子をつなぐ スピーカーとテレビの両方から音声を出す



■テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと、音声が出力されない場合があります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご確認ください。
■ご使用のテレビに音声出力端子がない場合はヘッドホン端子に接続してご使用ください。(左図参照)

② アダプターをつなぐ



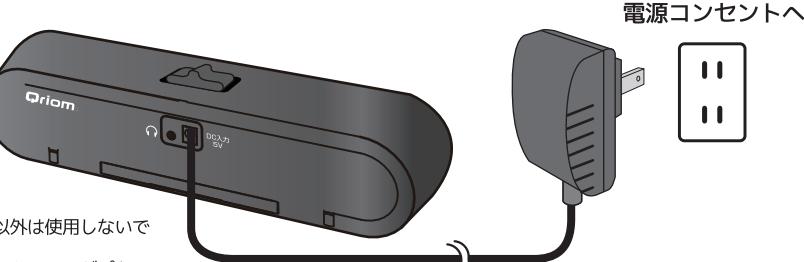
<注意>
■本製品に付属のケーブルおよびACアダプター以外は使用しないでください。
■本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターを抜いてください。

2 スピーカー(受信機)を設置する

用意するもの：スピーカー(受信機)、スピーカー用ACアダプター又は単3形アルカリ乾電池4本
(別売・市販品)

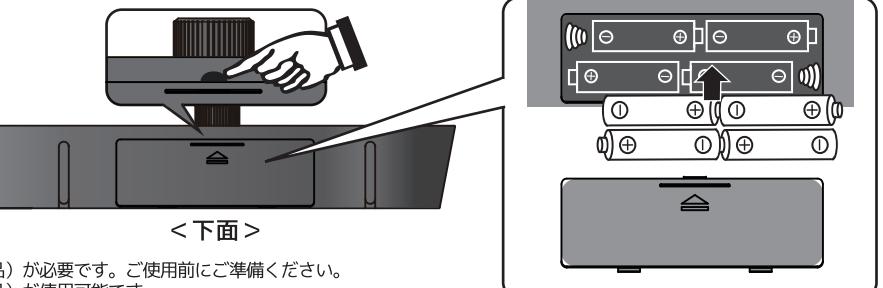
<注意> スピーカー(受信機)の電源が「切」になっていることをご確認ください。

AC電源で使う場合



<注意> ■本製品に付属のACアダプター以外は使用しないでください。
■本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターを抜いてください。

乾電池で使う場合



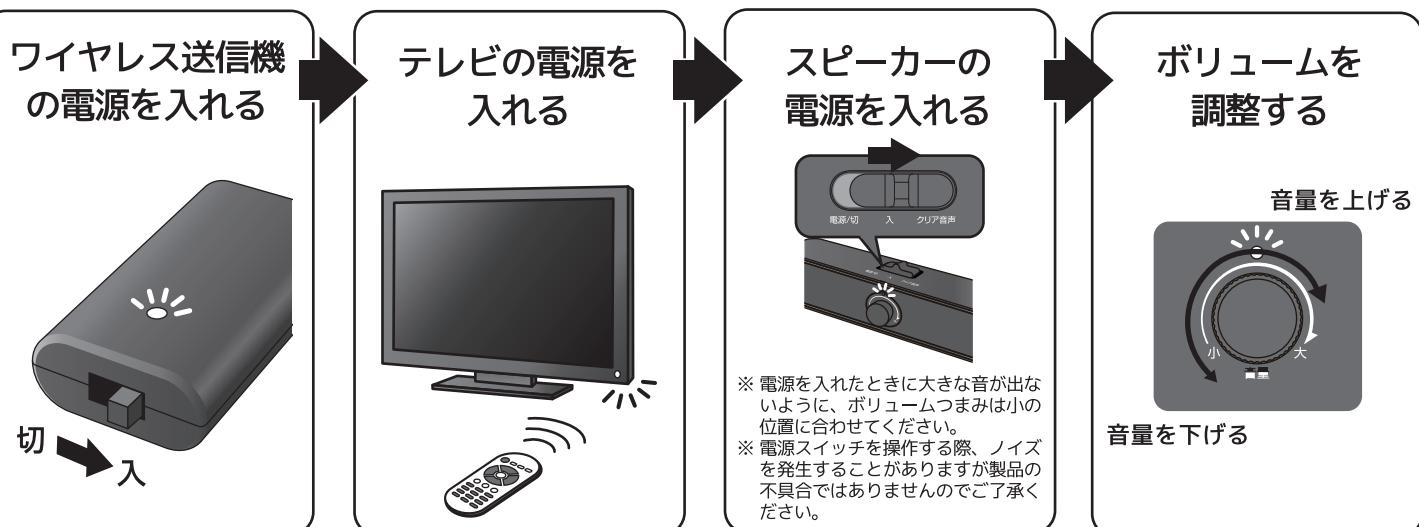
電池ふたを開ける際は、本体下面のくぼみに爪を引っかけ、電池ふたを押しながら手前に引いてください。

※単3形アルカリ乾電池4本(別売・市販品)が必要です。ご使用前にご準備ください。
※単3形ニッケル水素充電池(別売・市販品)が使用可能です。
※単3形ニッケル水素充電池(エネループ等)を本製品で充電することはできません。

※設置後、音が出ないなど困ったときは、「故障かな…?と思ったら」でご確認ください。

3 スピーカーで音声を聞く

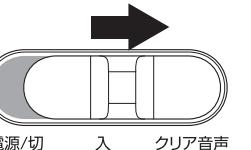
ご使用後はスピーカーの電源を切り、ワイヤレス送信機の電源を切れます。



<注意> 音の歪みが気になる場合は、テレビとスピーカーの音量を調節して適正なレベルに調整してください。

クリア音声スイッチ

スイッチを入れると、人の声がクリアに聞きやすくなります。



付属品等のオプション販売のご案内

下記の付属品を破損又は紛失した場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。他の機器のアダプタ類や市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

製品名	型番
1 ワイヤレス手元スピーカー受信機用ACアダプター	YWLS-AC1
2 ワイヤレス手元スピーカー送信機用ACアダプター	YWLS-AC2
3 ワイヤレス手元スピーカー用RCA変換ケーブル	YWLS-RC1

※価格につきましては、販売店にご確認ください。

※上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。



YWLS-24(B) 取扱説明書 (保証書付)

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間:
月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:
E-mail : support@qriom.com
ホームページ: [キュリオム](#)

安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例
 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。
●火災・感電・けがの原因となります。
自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。
●本体の変形・故障の原因となります。
不安定な場所や傾いたところでは使用しない。
●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
水につけたり、水をかけたりしない。
●ショート・感電の恐れがあります。
開口部やすき間から異物を入れない。
●火災・感電の恐れがあります。
雷が鳴り出したら本体に触れない。
●感電やけの恐れがあります。
本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。
●そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。
●他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。
電源コードを傷つけないでください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態(芯線の露出、断線、変形など)で使用すると、火災・感電の原因になります。
表示された電源・電圧(交流100ボルト)以外で使用しないでください。
●表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。
電源プラグの清掃を定期的に行ってください。
●電源プラグにほりこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布で取り除いてください。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
●感電・故障の原因となります。
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
●差し込みが不完全だと、発熱したりほりこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントは使用しないでください。
電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。
●一方の場所に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。
電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。
●コードが破損して火災・感電の原因になります。
本書で指定している以外の電池を使用しないでください。
●火災やけの原因になります。
病院内や航空機の中などでは使用しないでください。
●電波が特定の医療機器や航空機の計器類などに影響を及ぼし誤作動による事故の原因になります。

警告

心臓ペースメーカーを装着しているときは、本機を使用しないでください。
●電波がペースメーカーに影響を与え、誤作動の原因になります。
他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。
●ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えることがあります。また近くにモーターなどの装置があると、誤作動による事故の原因になります。

注意

高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。
●窓際や車中など直射日光のある場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のある場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になります。
音が connaît状態で長時間使用しないでください。
●スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。
●始めから音量を上げすぎるとき、突然大きな音が出て耳を傷めることができます。音量は少しづつ上げてご使用ください。
同梱品以外のACアダプターは使用しないでください。
●火災・感電の原因になることがあります。また、本製品のACアダプターを他の機器に使用することもおやめください。
お手入れをするとき、長時間使用しないときは、電源をはずしてください。
●安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。
電源プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らないでください。
●コードが破損して火災・感電の原因になります。必ずプラグを持って抜いてください。
移動させるときは、電源プラグや接続したコードをはずしてください。
●コードが破損して火災・感電の原因になります。また、接続機器が落したり転倒したりして、けがの原因になります。
ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。
●スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。
煙袋は安全な場所に保管してください。
●製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になります。

電池に関するご注意

必ず+(プラス)と-(マイナス)を正しく挿入してください。
爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせないでください。
長時間使用しないときは、電池を抜いて保管してください。抜かない場合、液漏れの原因となります。
万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、ただちに医師の治療を受けてください。
電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
指定された種類の電池を使用してください。
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所での使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・けがの原因になります。
直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
+(プラス)と-(マイナス)端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
電源コントローラや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
外装シール(絶縁被覆)の破れた電池を使わないでください。
使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
ニッケル水素充電池(エネループ等)、リチウム充電池を本製品で充電することはできません。
万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。
水や海水につけたり、端子部を濡らさないでください。
波漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。
火気のある場所に電池を置かないでください。
充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
充電池は、同時に充電した充電池をご使用ください。
電池に強い衝撃を与えること、投げたりしないでください。

使用できる電池について

本製品でご使用になれる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用にならないよう十分にご注意ください。
■単3形アルカリ乾電池(推奨:パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池)
■ニッケル水素充電池(推奨:パナソニック エネループ)
<ご注意> ■日本のメーカー以外のアルカリ電池やニッケル水素充電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。
■オキシライド乾電池はご使用できませんので、ご注意ください。
<ノイズについて> ■本機をご使用中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

電波に関するご注意

●本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許が必要ありません。ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられことがあります。
・分解・改造すること
・本機に貼ってある説明ラベルをはがすこと

●本機は2.4GHzの周波数帯の電波を使用します。2.4GHz帯の電波は、他の無線機器も使用しています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

本機の使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動式識別用の構内無線局(免許を要するもの)、特定小電力無線局(免許を要しないもの)およびアマチュア無線局(免許を要するもの)が運用されています。
・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていることを確認してください。
・万一、本機から他の無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用を中止してお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
・その他、本機から移動式識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例などが発生した場合は、キュリオムサポートセンターまでご連絡ください。

●本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することができます。

●次の場所では電波干渉により、ノイズや音切れが発生する可能性があります。

・2.4GHz帯を使用する電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、Bluetooth機器の周囲

・アンテナ入力端子を持つAV機器の周囲



※電波の到達距離は、周囲の環境により異なります。

故障かな…と思ったら

故障かな…? と思ったら

故障かな…? と思ったら、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

音が出ない

●機器が正しく接続されているか?

- ▶裏面「使い方」にしたがって接続を確認してください。
- ▶ACアダプター、接続端子が奥まで差し込まれているか確認してください。
- ▶RCA変換ケーブルで接続している場合、テレビの「音声出力端子」に接続しているか確認してください。